

科目名	平和インターンシップ
単位数	2.0
担当者	広島平和研究所 教授 山田 康博 非常勤講師 水本 和実
履修時期	集中(後期)
履修対象	1・2年
講義形態	講義
講義の目的	広島市周辺に存在する資料館、美術館、広島城など、平和や戦争、原爆被爆などについて学べる施設、史跡等に足を運び、専門家から講義を受けることで、平和に関する問題を多角的に学ぶ。さらに平和を自ら創り出すことを主体的に学ぶため、NPOの専門家から「ピースクリエーター」について学び、自分にとっての平和とは何かについて考える。原則として10月～1月までの土曜の午後に計7回、サテライトキャンパス等で学ぶが、このうち3回は広島平和文化センター主催の市民講座ヒロシマ・ピースフォーラム(広島平和記念資料館で通年6回開催)に参加する。
到達目標	広島市周辺の多様な資料館、施設、史跡、モニュメントに足を運び、専門家から学ぶことで、それらの沿革・由来・歴史や平和を考える上での意義を理解し、説明できる(普遍的教養)。平和を創り出す事の重要性を、自分の言葉で語れる(課題解決能力)。自分の考える「平和」について考え、それを自分の言葉でまとめることができる(専門的知識・技術・技能)
受講要件	前期集中講義「広島からの平和学:実践の方法」と合わせて受講すると、学習がより深まるので、受講を勧めるが、特に受講の要件とはしない。
履修取消の可否	可
履修取消不可の理由	
事前・事後学修	(事前学修) インターンシップは、主に広島市周辺の資料館や施設等で実施するため、受講生はあらかじめ日程を確認し、施設や史跡に関する情報を主体的に調べておくこと。 (事後学修) 講義で得られた知識をさらに関連する文献等で確実なものとし、期末レポートにその成果をまとめる。その際、専門書を最低3冊以上読む事が求められる。
講義内容	I. ガイダンス(学内で10月始めに実施。学内掲示で確認すること) II. 「平和インターンシップ」 10月から1月までの間の不定期の土曜日(一部日曜日の可能性あり)の午後に計7回。1回約3時間。実施内容および実施日はまだ未定)。最終日時・場所はガイダンスおよび、各回の学内掲示や学内ウェブページ「WebClass」などで必ず確認すること。 (実施予定場所・未定・順不同) 1. 広島平和記念資料館 2. 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 3. 広島市郷土資料館 4. 広島市現代美術館 5. 広島城 6. 放射線影響研究所 7. その他 III. まとめ: 期末レポート提出 期末レポートの課題は「平和インターンシップで学んだこと」。講義を受ける中で、1) 自分の認識が改まったり、見方や考え方が大きく変わったりした点、2) 特に印象に残ったテーマや講義の内容、講師の研究・活動など、3) 初めて見聞きしたり体験したりしたこと、4) 最も感激したり感動したりしたこと、のいずれかを整理して書くという内容。字数は2,000字程度。
期末試験実施の有無	実施しない
評価方法・基準	受講票・平常点(60%)および期末レポート(40%)で評価する。原則として全7回の出席とレポート提出は必須。ただし他の講義と重複等やむを得ぬ理由で欠席する場合は、必ず事前に連絡すること。考慮いたします。
教科書等	必要な資料は毎回、講義で配布するほか、参考文献は適宜指示する。
担当者プロフィール	
講義に関連する実務経験	
課題や試験に対するフィードバック	講義で毎回質疑の時間を設ける。レポートのテーマについても事前に相談の時間を設ける予定。
アクティブ・ラーニング	
キーワード	広島、平和、戦争遺跡、原爆、復興、核兵器、紛争
備考	施設見学に際しては、施設の決まりや団体行動の規律を遵守すること。また、学外での講義のため、開催場所までの交通費は各自負担すること。講義の運営管理等の関係上、履修者数が多い場合は履修制限を行う場合がある(履修者数の上限の目安: 40人)。履修制限を行う場合は、別途掲示等で連絡する。